

カボチャ画像うどんこ病識別システム（Raspberry Pi 版）

作業の手引き

- うどんこ病を診断するには...
 - [診断のしかた](#) をご参照ください。
- Wi-Fi の設定 (SSID) を変更するには...
 - [Wi-Fi アクセスポイントの設定](#) をご参照ください。
- ブート用イメージをSDカードに書き込むには...
 - [ブート用イメージの書き込み](#) をご参照ください。
- ソースコードを、既存の Raspberry Pi 等のサーバに展開するには...
 - [ソースコードの展開](#) をご参照ください。
- オフライン地図の表示地域を変更するには...
 - [OpenStreetMap オフライン地図の作成](#) をご参照ください。
- 変更したソースコードをブート用イメージとして再配布するには...
 - [ブート用イメージの作成](#) をご参照ください。

概要

このシステムは、カボチャ画像からうどんこ病の有無を診断し、その結果を Web UI 上の地図に表示するアプリケーションです。

うどんこ病の診断には画像分類 AI を用いており、下記の AI モデルから選択できます。

- Raspberry Pi 上で動作する軽量AIモデル
- [農業データ関係基盤 \(WAGRI\)](#) が提供する病虫害診断AI API（利用契約が必要）

環境構築

事前準備

下記の環境・ソフトウェアを用意してください。

- Raspberry Pi 4 Model B (8GB) またはそれ以上のスペック
- [Docker Engine](#) (version 20.10.7 以上)

下記のハードウェアは必須ではありませんが、併用することで診断を高速化できます。

- [Coral USB Accelerator](#)（USB接続のAIアクセラレータ）

本システムは、WAGRI の病虫害診断APIを使用することができます。WAGRI を利用する場合は、利用申請を行い、下記のアカウント情報を用意してください。

- WAGRI API のクライアントID、クライアントシークレット（アクセストークン認証）
- WAGRI API のベンダーID（[Authorization](#) ヘッダに入力する値）

ローカル環境での環境構築

1. レポジトリをクローンします (`git clone`)。
2. WAGRI アカウント等の機密情報は、別ファイル（シークレット）として管理しています。下記コマンドを実行し、シークレットファイルを追加します。

```
$ cd /path/to/this/repo
$ cd app/
$ ./create_secret_skeleton
```

`./secret` ディレクトリ以下に下記ファイルが作成されます。各ファイルに、ID・シークレットを入力して保存します（行末は**改行しません**）。

- `wagri_api_client_id`: クライアントID
- `wagri_api_client_secret`: クライアントシークレット
- `wagri_api_vendor_id`: ベンダーID
- `auth`: Basic認証のユーザ名とパスワード (JSON形式)

```
{
  "username1": "password1",
  "username2": "password2"
}
```

3. Docker コンテナの起動コマンドを実行します。

```
$ docker-compose up --build
```

ブラウザで `http://localhost:3000` を開くと、システムの Web UI が表示されます。

単体テスト（ローカル環境）

`app` サーバの各機能に対して、単体テストを実装しています。テストは、下記コマンドで実行できます。

```
$ cd /path/to/this/repo/
$ docker compose -f docker-compose.yml -f docker-compose.test.yml up --build
...
naro_pumpkin-app-1 | Test Suites: 2 passed, 2 total
naro_pumpkin-app-1 | Tests:      2 passed, 2 total
naro_pumpkin-app-1 | Snapshots: 0 total
naro_pumpkin-app-1 | Time:      34.839 s
naro_pumpkin-app-1 | Ran all test suites.
```

設定変更手順

Wi-Fi アクセスポイントの設定 (SSID, パスワード)

[Wi-Fi の設定を変更する](#) を参照してください。

Basic 認証の設定

`app/secret/auth/auth` で設定しています。上記「ローカル環境での環境構築」を参照してください。

WAGRI サーバの初期設定（アクセストークン等）

`app/secret` 以下の各ファイルで設定しています。上記「ローカル環境での環境構築」を参照してください。

WAGRI サーバ接続先の設定

`app/src/app.config.js` を編集することで、WAGRI サーバの設定を変更できます。

- `classifierName`: 診断先のAPIサーバ。下記のうち1つを指定。
 - `'naroPumpkinV1'`: 農研機構力ボチャ診断器（V1）
 - `'hoseiCucumberV4'`: 法政大学キュウリ診断器（V4）

CPU / TPU の選択

使用するアクセラレータ（CPU / TPU）は、`ai/src/model/lib/efficientnetv2.py` で変更できます。アクセラレータごとに、異なるモデルファイルを指定する必要があります。

ファイルをテキストエディタで開き、下記のとおり設定してください。

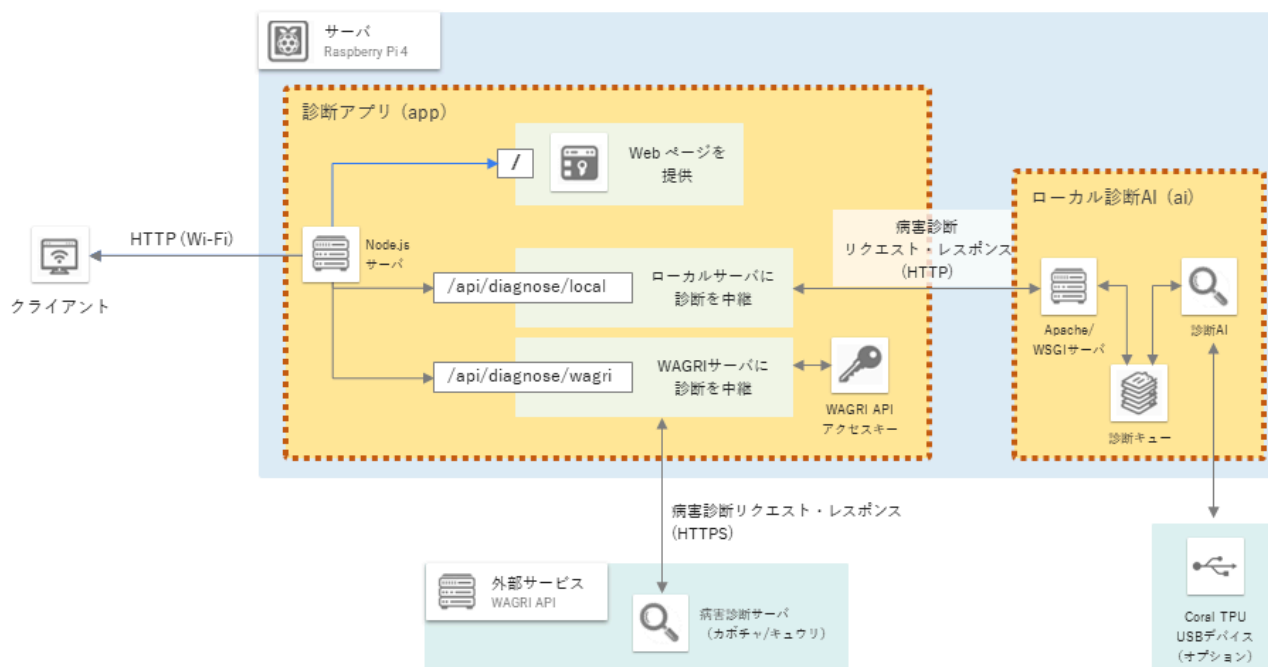
- CPU を使用する場合
 - `model_type = 'tflite'`
 - `tflite_path =`
`'/var/www/maff_ai/src/model/bin/20221210_1004_ev2hub_ep30/model_lite.tflite'`
- TPU を使用する場合
 - `model_type = 'edgetpu'`
 - `tflite_path =`
`'/var/www/maff_ai/src/model/bin/20221210_1004_ev2hub_ep30/model_edgetpu.tflite'`

システム構成

このシステムは、下記の要素で構成されます。

- Web アプリおよび中継サーバ
- オフライン診断用 AI

カボチャ画像うどんこ病識別システム（Raspberry Pi版）構成図



以上